

特集 豊洲・有明の再開発プロジェクト
職・住・遊・学が融合したまちへ



ビフォーアフター●ヨコハマパークビル駐車場（横浜市・中区）

ユーザー訪問●株式会社 Gデザインアソシエイツ

キューブ DECEMBER 2006

35



▲明るく、ゆったりしたスペースの「けやきプラザ」入り口



▲JR我孫子駅の直近に建つ「けやきプラザ」

我孫子けやきプラザ オープン

我孫子市と千葉県の複合施設「けやきプラザ」が8月1日、我孫子駅南口にオープンしました。

我孫子市民の福祉、コミュニティー、文化活動など、こどもから大人までの健康づくり、生きがいづくりの拠点施設として、展示会、催し物、会議、サークル活動などに利用されています。

県と市の主な施設は次の通りです。

千葉県の施設（千葉県福祉ふれあいプラザ）――

- ふれあいホール
- ギャラリー
- 介護実習センター
- 介護予防トレーニングセンター
- 東葛飾障害者相談センター
- 福祉センター

我孫子市の施設――

- あびこ市民活動ステーション
- 我孫子行政サービスセンター
- 我孫子南近隣センター



▲平面往復式パーキング

【概要】

- 所在地：千葉県我孫子市本町3-1-2
- 事業主：千葉県
- 設計：株式会社梓設計
- 施工：佐藤工業株式会社
- ※機械駐車
- 機種：平面往復式パーキング（ツインパレット型）
- 型式：BGA-61 (2) /31 (1) TWKS

変容続ける東京湾岸エリア

LIFE
FRONTIER
PARKING
特集

職・住・遊・学が 融合したまちへ 豊洲・有明の再開発プロジェクト



▲豊洲ふ頭より晴海運河越しに「アーバンドック」を望む（完成予想）

1988年、東京都は「臨海副都心基本計画」を発表。以来、「東京湾奥地域総合開発整備構想」に着手し、豊洲地区・有明北地区の再開発プロジェクトが始動した。いずれも、都心から至近距離にあり、今年3月には新交通システム「ゆりかもめ」が豊洲まで延び、11月には晴海通りが千代田区日比谷一江東区有明南地区の全線で開通する。交通網が着々と整備される中、地域の人にやさしい環境を実現させる新しいまちづくりも進められている。今号は、2016年のオリンピック招致も考慮した再開発プロジェクトがどのように進められているのかを取材した。

■PARKING FRONTIER/特集

1 ■ON THE WAY/キューブ・インタビュー
代役で知った役の“重さ”

2 ■PARKING FRONTIER/特集
職・住・遊・学が融合したまちへ

3 ■PARKING NEWS/パーキングニュース
お客様への説明の場に設計・建設担当者も同行
「新生 IKK」製販一体で

4 ■BEFORE AFTER/ビフォーアフター
重量車対策パレットに改造
ヨコハマパークビル駐車場（横浜市・中区）

5 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

6 ■WORLD INFORMATION/海外の駐車場事情
需要期待される機械駐車装置
二重駐車は当たり前

7 ■IUK CUSTOMER'S REPORT/ユーザー訪問
若いスタッフと共に“提案力”を培う
「街づくりの一翼担う」溢れる気概

8 ■PARKING Á LA CARTE/パーキング百科
駐車場のIT化の現状

9 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

10 ■WORLD INFORMATION/海外の駐車場事情
需要期待される機械駐車装置
二重駐車は当たり前

11 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

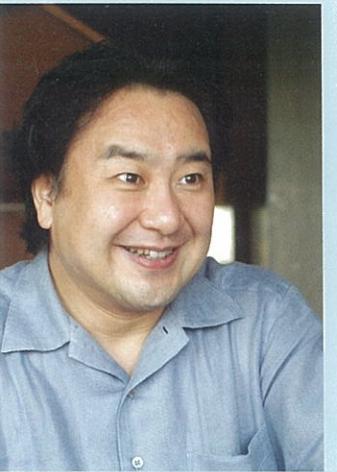
12 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

13 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

14 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

15 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

ON
THE
WAY
キューブ・インタビュー



中村 鶴雀

NAKAMURA Kanjaku

歌舞伎俳優

1959年、京都府生まれ。父は昨年、上方歌舞伎の大名跡を襲名した四代目坂田藤十郎（当時、中村扇雀）、母は元女優で現参議院議長の扇千景。67年、中村智太郎の名で東京・歌舞伎座で初舞台。95年、五代目中村鶴雀を襲名。69年に国立劇場特別賞を、また88、98、99年に十三夜会奨励賞を受賞。

代役で知った役の“重さ”

—8歳で初舞台ですね。

京都出身ですが、生まれてすぐに東京へ来て、それからずっと東京育ちです。慶應幼稚舎に入り、高校は慶應の日吉高でした。友人が生徒会長に立候補して当選、日吉祭が近づいたころ、いきなり「林（鶴雀の本名）、お前が実行委員長をやれ」って頼まれたのが運の尽きで、のめり込み過ぎ、1年留年してしまいました。友だちもその分、たくさんてきて、彼らの幾人かとは今でも付き合っています。

両親とも学業が優先という考えでしたから、中学、高校時代は舞台から遠ざかっていました。

—で、今や伝説となった「曾根崎心中」代役のエピソードに…。

大学生になると年に3か月ほど舞台に立っていました。祖父（故・二世鷹治郎）が京都の舞台で倒れ、突然、徳兵衛の代役が回ってきました。なんとか初日の舞台を済ませ、病床の祖父に報告に行きました。祖父は薬で意識がもうろうとしていて、「俺は舞台に出る」って言い張るんです。「私が代役で初日の舞台を終えて来ました」って重ねて言うと、途端に不機嫌になつて、口も利いてくれませんでした。

—以来、「曾根崎心中」の徳兵衛は屈指の当たり役に。

代役をなんとか務め終えた時は、それほどの感慨もありませんでしたが、次の舞台で徳兵衛役が再び回ってきたとき、その役の“重さ”を痛感しました。

—親・兄弟といえども手強いライバルでもあるわけですね。

そのライバルと、入り口は別々ですが同じ家と一緒に住んでいます。3階に親父夫婦、2階に弟・扇雀一家4人が、1階に私ども3人（奥様は日本舞踊・吾妻流六代目家元の吾妻徳彌、ご子息・壱太郎）が住んでいて、3家族で互いに連絡を取つて行き来しています。

—車は？

私が生まれてすぐに免許を取つた母の影響もあって、車の運転は好きですよ。今は大阪にも居を構えていますが、若いときは舞台のある東京、京都、大阪、博多、名古屋を車で往復することも度々でした。

稽古の時の台詞を録音しておいて、移動のときに再生し、運転しながら口でなぞっています。窓が開いているのに気がつかず、大声でやついたら、交差点で並行して止まっていた車の人に変な顔をされたこともあります。

CONTENTS

■CUBE』-「立体」の意。三次元的な思考を要する時代の担い手でありたいという希望をこめた誌名。

2 ■ON THE WAY/キューブ・インタビュー
代役で知った役の“重さ” 中村 鶴雀/NAKAMURA Kanjaku
歌舞伎俳優

3 ■PARKING FRONTIER/特集
豊洲・有明の再開発プロジェクト
職・住・遊・学が融合したまちへ

7 ■PARKING NEWS/パーキングニュース
お客様への説明の場に設計・建設担当者も同行
「新生 IKK」製販一体で

8 ■BEFORE AFTER/ビフォーアフター
重量車対策パレットに改造
ヨコハマパークビル駐車場（横浜市・中区）

10 ■IUK CUSTOMER'S REPORT/ユーザー訪問
若いスタッフと共に“提案力”を培う
株式会社 Gデザインアソシエイツ
「街づくりの一翼担う」溢れる気概

13 ■PARKING Á LA CARTE/パーキング百科
駐車場のIT化の現状

14 ■WORLD INFORMATION/海外の駐車場事情
需要期待される機械駐車装置
二重駐車は当たり前

15 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・バースエレベーターパーキング
・IHIフォークパーキング
・フラットパーク・i稼働中

われていたドックや約20tのスクリュ一を残して地区の特徴を表現していくこ

うというコンセプトだった。

この時点すでに、銀座から直線距離で約3km、羽田空港まで車で20~30分という立地条件のよさから、数社のIT企業が進出していた。

翌年、具体的な開発計画が決まって本格的に開発が始動した。しかし、IHの土地の開発を進めるにあたり、IHは魅力ある街づくりのために、以前の都市基盤整備公団(現・独立行政法人都市再生機構)に住宅用地を売却し、芝浦工業大学を誘致するなど、複合的なまちづくりを進めてきた。

全国各地の再開発の中で謳われるることは、職・住・学の複合開発である。しかし、それがバランスよく融合することは難しく、ましてや「遊」空間も次々に実現複合開発をめざす協議会

豊洲地区は地権者が少なく、そうした難題を克服する有利な環境もあった。その地権者は、東京都・江東区・IH4者が合意し、計画が進められ、問題が起これば徹底的に話し合つて解決へ導ける関係もあつた。

また、開発当初からタウンマネジメントの考え方を取り入れ、「豊洲2・3丁目地区まちづくり協議会」を組成し、統一感のある質の高い都市空間形成を目指している。現会員は、IH・独立行政法人都市再生機構・三井不動産(株)・学校法人芝浦工業大学・住友不動産(株)・双日(株)・大和ハウス工業(株)・トステムビバ(株)・株式会社コープレーションからなる。



▲アーバンドックららぽーと豊洲



作らないようしている。ビルには基本的に機械式駐車場設備を導入し、上層階に駐車スペースがあるビルでは外から車が見えないような工夫をし、高層ビルには地下駐車場スペースを完備する。こうした条件を満たした商業施設は約2000台の駐車場をもつ。ただ、年間1300万人の人出を予想していることを考えると、1日の車利用者が3万人としても2000台の駐車スペースでは足りないのではないかと思われる。駐車場の整備は急務だが、現在のところオフィスビルが2棟あり、土・日などには各企業の駐車場を来街者に開放することも考えているようだ。

**東京の名所がまた一つ
大型商業施設オープン**

豊洲の再開発計画の大きな目玉が「アーバンドック」。IHと三井不動産が事業提携して建設中の高層マンション「アーバンドックパークシティ豊洲」と、10月5日にグランドオープンした商業施設「アーバンドックららぽーと豊洲」が、新しい豊洲の歴史を刻む。この「アーバンドックららぽーと豊洲」は歴史的産業遺構であるIH造船ドック跡の水辺を中心にして、その中には190の文化施設やショッピングモールが入っている。

世界的に著名な平木コレクションを常設する「浮世絵美術館」、日本に初上陸した子どものためのおしごと体験タウン「キッザニア東京」、12スクリーンと1777席をもつ「ユナイテッド・シネマ豊洲」、美しい夕陽や夜景を眺望できるレストランやバー、ラウンジなど、大人も子どもも楽しめる遊空間が実現した。このほか、19世紀製のパイプオルガンの音色、ダニエル・オスト氏デザインのガーデンなど、潤いを提供する演出も工夫されている。この新しい空間は、これまでにない幅広い年齢層の交流拠点を目指している。豊洲はアクセスのよさも特長の一つ。



「新生 IKK」製販一体で

—お客様への説明の場に
設計・建設担当者も同行—

IKK(石川島建材工業)では、昭和50年以降30余年にわたり、自走式駐車場の設計・建設を手掛けてきました。納入実績は300棟を超え、地域の社会資本整備に貢献してきました。

昨年10月、IHI(石川島播磨重工業)から自走式駐車場の営業譲渡を受け、営業体制の強化を図りました。今後、お客様の意向をさらに反映し、適正設計・品質確保を基盤に製販一体とした、顧客満足度(CS)の高い駐車場を提供していきたいと念じています。その決意の一端を、当社の営業、設計、建設担当の若手スタッフに披瀝してもらいました。



個々のお客様のニーズに細かく対応

パーキング部設計グループ 廣田 修

営業から伝わってくる設計への要求が細かくなりました。特に目に見える部分、例えば階段の手摺形状・区画ラインの引き方・案内看板の位置など、個々のお客様のニーズに一層適切に対応できるようになりました。

機能性・収容効率が重視されるがちな自走式駐車場において、利便性と安全性の向上は更に重要と感じています。今後も、お客様の生の声を反映できる駐車場の設計を心掛けていきます。

各担当者の顔を覚えていただき、
お客様に安心感

パーキング部営業グループ 五味 昭人

お客様の声を社内へ代弁する立場として、
設計・建設担当と机を並べることは仕事を進める上で良い効果があがっていると身に染みて感じています。

また、説明の場に設計・建設の担当が同行すると、お客様に安心感を持って頂けます。お客様に各担当の顔を覚えて頂くことは、納入に至る過程においては重要な要素を感じております。これからも当社の個性が出せる駐車場を理想として職務に励みます。



工事無災害の記録更新を目指す

パーキング部建設グループ 藤田 浩司

入社以来、北海道から山口まで、10数件の現地工事を無災害で納入してきました。これからも自らの力を過信することなく記録更新を目指します。

今後は、営業情報を遅滞無く詳細に相互伝達し、現場運営を更に円滑に図ることで、お客様の満足度向上に努めます。



東京駅からわずか3・5km圏内、有楽町から地下鉄有楽町線で7分、国際展示場正門からゆりかもめで9分と、生活にもビジネスにも便利な立地にある。また、江戸の伝統文化が色濃く残る深川や木場へも近く、新旧の東京が融合した新しい親水都市の一角をなす。

「地元」ガリーダーシップ 有明北地区のまちづくり

有明北地区は豊洲地区の南に位置し、約141haの土地に居住機能を中心に、業務・商業機能と都市型産業が融合するまちづくりを進めている。その一つの要が交通網の整備。都心と海で隔てられている臨海副都心にとって、交通網は生命線であり、重要な開発ポイントとなる。新交通システムゆりかもめ、都心部と直結する環状2号線、広域幹線道路の放射34号線(晴海通り)、補助第315号線(豊洲・有明連絡道路)、台場・有明北連絡道路など、交通インフラが着々と整備されてきている。

その中で、東京駅まで直線距離で約5kmという好立地を最大限にいかし、ウォーターフロントの快適性と都市機能を享受できる居住空間を創出。その間地権者が集つた「有明をよくする会」である。ウォーターフロントの特性を

**大規模な開発が進むなか
「学びの場」もしつかり**

大規模開発が進められる中で、忘れてはならないのが子どもたちの学びの場である。

豊洲地区は、地域のマンションに住む子どもたちを受け入れる豊洲北小学校が来春開校する。有明北地区でも、かえつ有明中学校・高等学校が今年開校した。新しいまちづくりの中では、子どもたちの育ちの場を保障することも重要なプロジェクトである。

東京湾最奥部に位置する豊洲地区、豊洲埠頭、晴海埠頭を抱えるエリアでは、各地区が単に個別で開発を進めのではなく、地権者相互に連携をとりながら、水辺空間を活かした開発を進め、まちの魅力を高めていくことを目的に、東京インナーハーバー連絡会議が立ち上げられた。各地権者がプロムナードを整備して海の道を作り、対岸から緑豊かな空間を眺望できるようにな

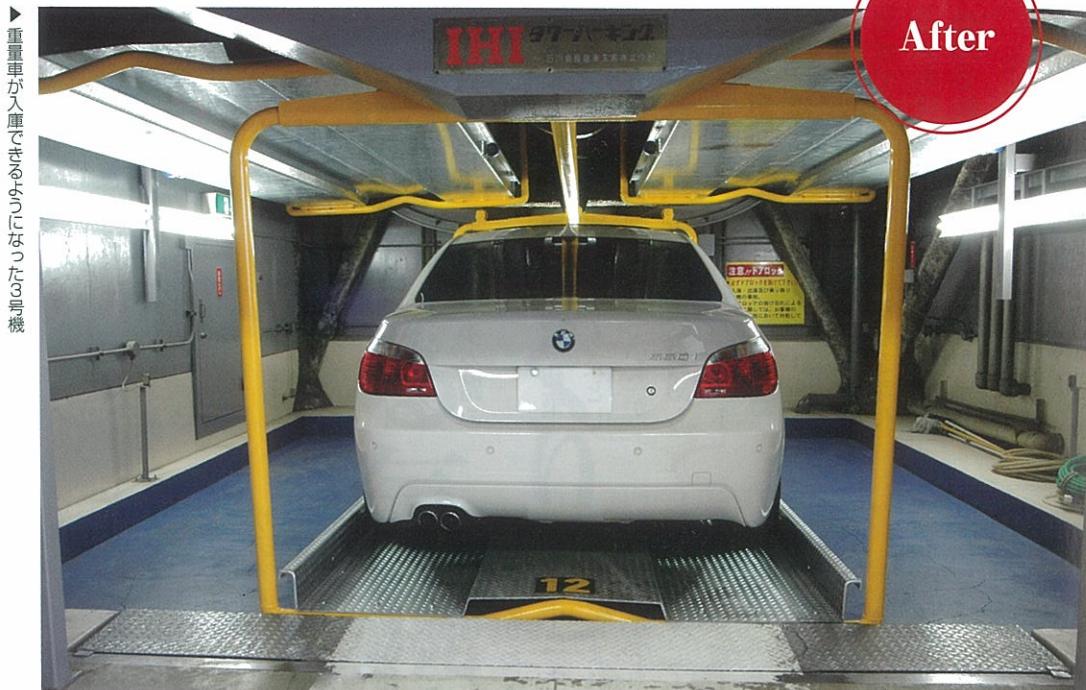
しようという計画を進めている。このほか、お台場から浅草へ向かう水上バスが豊洲地区へも回るようになった。今後、2016年の東京オリンピック招致という大きなプロジェクトもあり、臨海副都心とその周辺は新たな開発がひかえている。その一つが、オリジナルスタジアム、有明北地区に選手村が建設される。オリンピック招致に向けた臨海エリアの開発は、新しい東京の姿を象徴する画期的な機能と人・自然が融合したまちづくりになるだろう。



アーバンドックららぽーと豊洲内部イメージ



▲中村 賢司社長



▲重量車対策パレットに取り替えた3号機（右、中央と左は2、1号機）

を予想したこと。「ビルのオーナーさんは（カサハラ企画、笠原秀正社長）のご理解もあり、低料金を稼働率でカバーし、周辺の他の業者さんとも十分に対抗できています」と中村社長。1日を朝の7時～19時と19時～翌朝の7時に分け、料金も前者が1600円、後者が10000円といずれも打ち切りにしたことも奏功した。夜の19時では30分ではほぼ満車になる日が多いという。稼働率アップの理由について中村社長は「ニーズの幅が広がったことで口コミで顧客が増え、リピーターの

スタジアムを利用する顧客のニーズに応えたいとの気持ちから。納期の条件として「横浜スタジアムでの最初の対戦に間に合わせてほしい」という注文だった。工事は3月下旬～4月上旬で、11日間で完了。もちろん、対巨人3連戦に間に合った。

最大の改良点は、パレット内幅が1.75メートルから1.86メートルに広がり、タイヤ外幅が1.69メートルから1.80メートルに、最大重量も1.60tから1.90tになったこと。改修工事により、これまで入庫できなかつたトヨタセルシオC仕様、同ニユーベンツの車両も入庫できるように改修された。

信頼を得られたからでしょう」と分析する。

古いタイプのパレットを使っている1、2号機について中村社長は「すでに設置してから24年近く経っているので、順次、重量車対応パレットに交換したい」という。

石川島運搬機械（IUK）のパーキングメンテナンス事業部メンテナンス営業部の長谷川稔部長は「おかげさまで重量車対応パレットへの改造は好評です。現在、都内、横浜、大阪、神戸、名古屋、福岡など市を中心部のユーチャーさんのご要望にこたえて1か月に20～30件ほどの提案書を出しています。駐車違反の取り締まり強化で駐車場の需要が高まり、ユーチャーさんの中には『工事完成を1か月前倒してほしい』といった要望も相次いでいます」という。

また、ヨコハマパークビルの重量車対応パレット工事を担当したIUKパーキングメンテナンス事業部横浜第二サービスセンターの栗田健二郎チーフリーダーは「3基ある立体駐車場のうち改造工事は道路側の3号機だったのですが、工事には気を使いました。奥の1、2号機の出入庫の迷惑にならないよう、部材を搬入しました。工期も11日間と比較的短期間でクリアしきれいに仕上げつて、ほつとしています」と話しており、次のユーチャーからの注文の対応に追われている。

「横浜ベイスターズが人気カードの巨人、阪神と対戦する日はスタッフを増員して対応しています」と話すのは、ヨコハマパークビルの立体駐車場を管理している「株式会社日本ビルディング」の中村賢司社長。

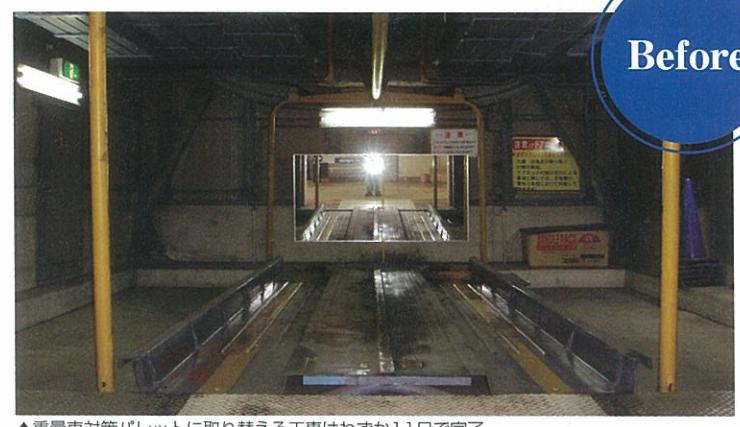
同ビル（横浜市中区尾上町2の19）は横浜スタジアムの歓声が風に乗って聞こえてくる場所にある。関内駅ともほど近く、さらにビルの真ん前に横浜市役所、後ろに関内地区の商店街を抱えているため、駐車場の需要はきわめて高い。

同ビルの立体駐車場は3基あり、それぞれ32台を収容できる。このうち、重量車を収容できるようにしたのは、道路に一番近い3号機32台で、台数を減らすことなく、すべてを「重量車用メッキパレット」に替えた。

中村社長に重量車対策パレットに取り替えることを決意させたのは、横浜はヨコハマパークビル駐車場（横浜市・中区）■



ニーズの幅広がり、稼働率3割増に 重量車対策パレットに取り替え



▲重量車対策パレットに取り替える工事はわずか11日で完了

スタジアムを利用する顧客のニーズに応えたいとの気持ちから。納期の条件として「横浜スタジアムでの最初の対戦に間に合わせてほしい」という注文だった。工事は3月下旬～4月上旬で、11日間で完了。もちろん、対巨人3連戦に間に合った。

最大の改良点は、パレット内幅が1.75メートルから1.86メートルに広がり、タイヤ外幅が1.69メートルから1.80メートルに、最大重量も1.60tから1.90tになったこと。改修工事により、これまで入庫できなかつたトヨタセルシオC仕様、同ニユーベンツの車両も入庫できるように改修された。

前は1時間400円としていたのを、30分200円、30分増すごとに200円と刻みを小さくした。この料金設定は、6月からスタートした民間委託による駐車違反の取り締まり強化によって「5分駐車などと短時間でも駐車場に預けよう」というお客様が増えること

取り締まりの民間委託による強化に伴い「稼働率はほぼ3割増」と中村社長。周辺も見るくなつた。

今年6月からスタートした駐車違反取扱い表面・裏面が照明を反射して、周辺も見るくなつた。

しかもサビに大変強くなり、耐久性も向上した。「ドブ漬けメッキ」により、亜鉛メッキの層が65μと厚く、サビからしっかりとガードしてくれる。パレット表面・裏面が照明を反射して、周辺も見るくなつた。

従来のプレスパレットは鋼板の厚さは2・3ミリ。これに對して改修の折り曲げパレットの厚さは4・5ミリで、軸受けにも万全の重量車対策が施されている。チエツカープレートになつており、パレットとともにケージ枠やそれを吊る軸受けにも万全の重量車対策が施され、タイヤ外幅とも従来のパレットでは取り切らなかった他の駐車場に停めていたが、改修後は「晴れてここに駐車できるようになった」と、につこう。

従来のプレスパレットは鋼板の厚さは2・3ミリ。これに對して改修の折り曲げパレットの厚さは4・5ミリで、軸受けにも万全の重量車対策が施され、タイヤ外幅とも従来のパレットでは取り切らなかった他の駐車場に停めていたが、改修後は「晴れてここに駐車できるようになった」と、につこう。



▲「難易度の高い仕事にやりがいを感じる」と語る西所長

株式会社 Gデザインアソシエイツ
代表取締役所長
西 洋一さんを訪ねて

意に添つたご提案ができるように、
普段からアイデアの仕込みを心がけ、
提案力を身に付けるように努力し
ています」と力を込める。受注先の
希望に少しでも近づけ、かつ法的規
制をどうクリアするか、地形をどう
取り込むなど、難易度の高い仕事
には「やりがいを感じる」とも。

「Gデザインアソシエイツ」のス
タッフは所長を含めて14人。平均年
齢は30歳代とかなり若い。コンピュー
タで設計・制作するCADシステム
を駆使する一方、社内スタッフはも
ちろん、Gデザインアソシエイツや
九大のOBなどを含む社外スタッフ
と「知とアイデアのネットワー
ク」を組む。



▲西所長と若いスタッフたち

「街づくりの一翼担う 若いスタッフと共に“提案力”培う 溢れる気概

若いスタッフと共に“提案力”培う

のために少しでもお役に立てれば
…という考えを優先させています。

事業主さんが志向するブランドは様々
ですが、当社は個々の事業主さんの

1年前に分社化し、さらに今年1
月から「Gデザインアソシエイツ」
と社名変更して新たなる一步を踏み
出した。
分社化する前の会社「酒建築・
まちづくり研究所」では副所長として
設計部門の責任者を務めていたが、
代表取締役所長、牧敦司氏の勧めも
あって設計部門を切り離し、ネット
ワーク事務所として独立したのだ。

鹿児島大工学部建築学科(田良島
研究室)を経て九州大大学院(青木
正夫教授の主宰する㈱メイ建築研
究所で修業して5年後の平成元年
に牧氏と2人で「醇建築・まちづくり
研究所」を立ち上げた。
受注先は九州、中国地方をカバー
し、これまでに扱った件数は「23階
建てから3階建てまで、賃貸・分譲・
公営・民間の意味」で延べ
8千戸を超えるでしょう」と西所
長はさらりと言つてのける。もちろん
その中にIUKに発注した立体
駐車場も含まれる。

住居タイプもワンルーム、シルバー
ハウジング、ファミリーマンション
とバラエティー豊かである。

目立つ施設より 住宅設計に興味移す

企画・設計・デザインのスタンスは
「基本的には事業主さんのブランド

Global designのそれぞれのGをとったものだが、「引力のGも意味しているんですね」と代表取締役所長の西洋一さん(47)は解説してくれた。Gは引力だから“時代の変化や革新的 ITを先取りする”とか“地域のニーズに敏感にリアクションする”とか、そんな意味を込めているのだろう。建築設計や内装設計の監理、デザイン企画などが主な業務で、石川島運搬機械株(ーイク)とは立体駐車場の建設でお世話になっている。受注件数の多さはもちろん、その安定性と斬新性において、西日本では名の通った設計・デザイン会社である。



駐車場のIT化の現状

IT技術のめまぐるしい進歩の中、駐車場利用者へのサービス向上や事業者の利便性を狙ったIT化についてご紹介します。

次に挙げるIT化の実例は、既に稼動しています。

今回ご紹介するもの以外にもPOSレジにて駐車料金を割り引く「POSレジ連動システム」や、ETCの技術を応用した車載器によるノンストップ入出場システムで

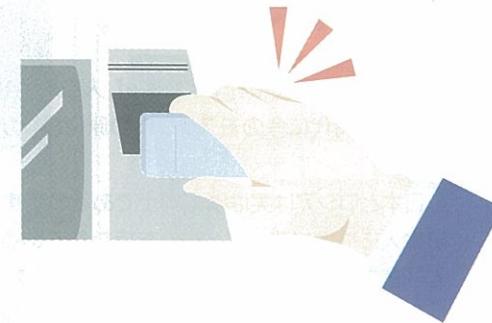
ある「DSRCシステム」など、駐車場のIT化は広がっています。今後、機会がありましたらご紹介をしていきたいと考えています。



FeliCa対応携帯電話（おサイフケータイ）を用いた駐車場チケットレス化

FeliCa ICチップ（非接触式ICカード機能）を内蔵した携帯電話を入場の発券機、退場の精算機の読み取り面にかざし、FeliCa ICチップ内に駐車券データを書き込むことで、紙の駐車券を使わずに駐車場の入退場ができます。

使用の前にはあらかじめ駐車券データのソフト（アプリケーション）を登録（ダウンロード）しておく必要があります。



QRコードを用いた駐車位置表示

駐車場情報（駐車位置）と駐車場ホームページアドレス（URL）を記録した2次元バーコード（QRコード）を駐車エリアごとに掲示し、自分が駐車した場所に最も近いQRコードをQRコード読み取り機能付き携帯電話を用いて読み取ることで、自分が駐車した場所の位置情報を携帯電話に記録・表示したり、駐車場ホームページにアクセスすることができます。

駐車場電子マネー（Edy）決済

ピットワレット社が発行する電子マネー（Edy）を現金あるいはクレジットで事前に購入し、その電子マネー（Edy）を使って現金同様に駐車場料金の支払を行います。

硬貨・紙幣を持ち歩く面倒がなくなることがメリットです。

支払の際、Edyを登録させたFeliCaカードあるいはおサイフケータイが必要です。



・FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
・FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
・おサイフケータイは株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
・Edyはピットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスの商標です。

夜することもしばしば。西所長もお付き合いしても、「自席で眠つてしきことが多い」と屈託なく笑う。若いころは文化ホールのような目立つ公共施設の設計に関心を持つていたが、歳を重ねることに「人の一生のうち一番長い時間を過ごす住宅」に興味が移つていったという。福岡市はチャレンジ精神を刺激してくれる土地でもあるらしい。開発規模に応じ、市の条例で色・素材・デザインなど景観条件に事前審査があつて、OKをもらって初めて着工となる。分社化後の今も街づくりの一翼を担つている。

扱う住居タイプの多くには、お年寄り、体の不自由な人も含めて快適に過ごすことができる「ユニバーサル・デザイン」への配慮がある。その延長線上に、「立体駐車場の操作性の良さ」も入っている。「入出庫の際、エレベータの押しボタンのようにボタンを大きくしたり、タッチパネルにして操作が楽なようにしてほしい」と、ユーザーの立場から注文をつける。

発注者と連携 安全性に一層の配慮

もちろん、立体駐車場の設計者としてメーカーや発注者と連携して心配りする場面も多い。車幅の大きい乗用車、車高の高いワンボックスカー



▲西所長が設計し、IUKが納入した立体駐車場の外観（中央のビル）



▲駐車場の出入り口

などが入庫できる駐車場の需要は高まっているが、高さ制限などの法基準を守りつつ、入庫台数を減らすことなくそうしたニーズにいかに応えられるか、「常に葛藤を強いられますね」と言う。さらに「事故がないよう防火、耐震、水害対策など安全性を一層強化しなければならない」とも強調。「例えば福岡市は川の氾濫で水害が多いが、ピット式多段駐車場では水位が一定の水深を超えると自動的に床が上昇して車を水没から守るようなシステムにすることも考

えていいと思いますね」と言葉を継続。同社が採用したIUKの機械駐車はこれまでに15件にのぼる。請負者は「外壁に特殊塗装鋼板やALCパネル（軽量気泡コンクリートパネル）などを使うことで周囲のビルと一緒に化させるなど、今後とも連携して西側のIUKパーキングシステム営業統括部西日本営業部九州グループでは「外壁に特殊塗装鋼板やALCパネル（軽量気泡コンクリートパネル）などを使うことで周囲のビルと一緒に化させるなど、今後とも連携して西日本一帯の街づくりに一役買つてみたい」と西所長にエールを送つて



▲現場に赴き、工事の進捗状況を見て回る西所長

IUKからのお知らせ CUBECLIP

バースエレベータパーキング 1号機を納入

JR山形駅から徒歩8分という好立地に23階建てのマンション「D'グラフォート十日町タワー」が平成18年3月に完成いたしました。山形市内最高層マンションだけあって、駅からもひと目でわかるランドマーク的存在感があります。

当社はこのマンションにエレベータパーキング2基152台を納入しました。入口が1FとB1Fにあり、B1Fには、車を自動的に駐車内に引き込む搬送装置をエレベータ式に組み込んだ「バースエレベータパーキング」を採用し、機械内部にご利用者が立ち入らずにすむ、より安全な装置となっております。



CUBEに対するご意見をお寄せ下さい

CUBE編集部では、今後とも皆様の役に立つ情報を届けていきたいと思います。記事内容についてのご意見がございましたらお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせはIUKパーキングシステム営業統括部 緒方・田中までお願いいたします。

0120-809781
(E-mail) parking_no1@iuk.co.jp
(URL) http://www.iuk.co.jp/
http://www.ikk.co.jp/

CUBE No.35 CUBE No.35 DECEMBER 2006

発行日●2006年12月1日
発行●石川島運搬機械 株式会社
パーキングシステム営業統括部
〒104-0044
東京都中央区明石町6-4 ニチレイ明石ビル
Tel.03-5550-5796 Fax.03-5550-5367
発行責任者●瀧島 好晴
ディレクション・印刷●株式会社クロスワークス
編集●株式会社 東京読売サービス
デザイン●株式会社 イオック
◎ 石川島運搬機械 株式会社 禁無断転載複写

フラットパーク・i 稼働中

昨年末にパーキング関連商品として販売を開始、1月に受注した1号機「フラットパーク・i」が広島に納入され順調に稼働しています。

このフラットパークはコイン駐車場用の固定装置として、従来のフランプ式に比べ地上の突出部分が約2cmと極めて低く、ハートビル法にも適合しており、ほぼ平面駐車と同様の感覚で駐車できる事から車庫入れが不得手な女性や初心者にも好評を得ています。因みに名称の「i」はIUKのi、人に優しい愛のiをイメージして命名され、色はIUKのロゴ色のブルーとしました。

これを機に全国のサービスセンター所在に1箇所以上の設置を目指し、積極的な販売を目指します。

IHIフォークパーキング

平成18年10月1日からIHIフォークパーキングの販売を開始しました。

本機種の最大の特徴は、パレットレスの機械式駐車装置である点です。昇降搬器(ケージ)と棚部の自動車格納装置(トレイ)がともにフォークの形状をしており、昇降路でそれらが交差することにより入庫車・出庫車の受け渡しを行います。

従つて、パレット式のように、空パレットを棚に格納する時間が不要ないため、円滑性に優れた機械となっています。



表紙と裏表紙の写真

表紙：大羽りゑ
裏表紙：我孫子けやきプラザ（千葉・我孫子）

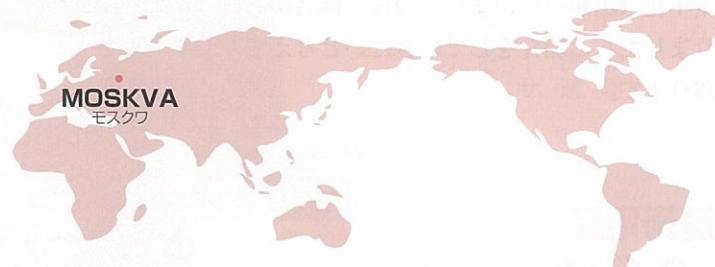
二重駐車は当たり前

需要期待される機械駐車装置

海外営業部 萩田直弥



その1 モスクワ編



赤の広場にたづクリムリン大宮殿

● オイルマネー流入

モスクワ市は面積約1000Km²、人口約1400万人の、言わずと知れたロシアの首都です。18世紀前半にピョートル大帝の時代に今のモスクワ市の原型が築かれました。現在のロシア連邦は1991年にソ連の崩壊の後発足しました。

日本とロシアは実は隣国同士であるのですが、なかなか日本人には馴染みがないのではないか。一般的に日本人には旧ソ連のイメージを持たれている方も多いと思いますが、モスクワ市の中心部はオイルマネーも手伝つて一昔前のイメージとは随分と違っています。

街には外資系企業の看板や高級車が多く見られ、観光客も多く訪れています。また、外国人向けの宿泊施設の金額の高さは世界でもトップレベルです。冬はさすがに寒いので6月辺りが観光のトップシーズンとなります。

● 冬は状況さらに悪化

目覚ましい発展を遂げているモスクワ市ですが、交通渋滞、違法駐車について他の大都市と同様大きな問題を抱えています。特に違法駐車についてはすさまじく、二重駐車は当たり前、歩道までびっしりと駐車されています。特に冬になれば積雪により車線が制限され、さらにひどい状況になります。

そうした状況からモスクワ市も対策を打ち始め、違法駐車の取り締まりや駐車場設置の動きが急速に進んでいます。



車道はもちろん、歩道にもびっしり違法駐車車両が目立つモスクワ市内

● 平面駐車、今や限界

モスクワ市ではまだ機械駐車装置がほとんどありませんが、地元ロシアの企業やドイツのメカ力などがいくつか納入をしています。又その他海外のメカ力も参入に意欲を持っているようです。

日本のように機械駐車装置を利用するが当たり前になるのには時間かかるかもしれません。しかし中心地には平面駐車では対応出来ないほど土地が不足しているのが現状です。間違いく多くの需要が期待されます。